



2024年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社 ティア
コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	13,912	30.4	1,257	14.8	1,072	1.8	672	7.9
2023年9月期第3四半期	10,666	6.6	1,095	1.7	1,092	1.5	730	1.2

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 672百万円 (7.9%) 2023年9月期第3四半期 730百万円 (1.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	29.89	
2023年9月期第3四半期	32.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	26,551	8,106	30.5
2023年9月期	15,376	7,879	51.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 8,106百万円 2023年9月期 7,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期		10.00		10.00	20.00
2024年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,940	34.6	1,390	22.5	1,180	4.2	695	12.0	30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	22,510,100 株	2023年9月期	22,498,100 株
期末自己株式数	2024年9月期3Q	5,389 株	2023年9月期	1,556 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	22,501,270 株	2023年9月期3Q	22,450,402 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、景況の変化等により、本資料予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安を背景とするインバウンド需要の拡大に加え、都市の再開発や物流拠点の整備といった建設需要等により、緩やかに回復しております。また、海外経済の底打ちに伴う輸出の改善、デジタル関連・環境対応といった設備投資の増加等により、今後も緩やかに回復するものとみられておりますが、家計の貯蓄率の上昇や節約志向の高まりを背景とする国内消費の低迷等、先行きに対する不透明感は拭えない状況であります。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀単価の減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましては、前年同期と比較して葬儀単価は増加する一方、葬儀件数は減少しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営会館・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、「新生ティア」のスローガンのもと、4項目のテーマを設け8つの戦略を推進しております。また、当社グループは、2023年11月20日付で大阪府八尾市を中心に葬儀会館17店舗を運営する「株式会社八光殿」及び関係会社、愛知県豊川市を中心に葬儀会館23店舗を運営する「株式会社東海典礼」及び関係会社をそれぞれ子会社化いたしました。これにより、第2四半期連結会計期間から中核葬儀社2社及び関係会社を連結業績の対象範囲とすると共に、上場会社グループとしての経営統合プロセスの推進及びシナジー効果を生み出すべく体制を構築しております。

新規出店の状況につきましては、直営会館は愛知県下に「ティア豊橋往完町」「ティア豊山」、三重県下に「ティア四日市東日野」「ティア四日市内部」「ティア鈴鹿神戸」、千葉県下に「ティア野田愛宕」、東京都内に「ティア東青梅」「ティア青梅河辺」を開設いたしました。フランチャイズでは、愛知県下に「ティア豊田浄水」、岐阜県下に「ティア美濃加茂」、富山県下に「ティア富山大泉」「ティア富山下奥井」を開設し、東海典礼が、愛知県下に「家族の新しいお葬式 形原ホール」を開設いたしました。これにより当社グループによる会館数は合計206店舗（直営会館97店舗、フランチャイズ68店舗、八光殿17店舗、東海典礼24店舗）となりました。

売上原価におきましては、固定費の負担割合は低下したものの商品原価率及び労務費率が上昇し、経費面では、新店稼働に伴う固定費の増加や、積極的な人材確保及び賃金制度改定による人件費、人事制度改革やM&Aに伴う支払手数料等が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は139億12百万円（前年同期比30.4%増）となり、売上原価率は前年同期比と比べ0.9ポイント上昇し、販売費及び一般管理費は前年同期比31.6%増となりました。これにより、営業利益は12億57百万円（同14.8%増）、経常利益では10億72百万円（同1.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億72百万円（同7.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、直営会館では「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりました。葬儀件数におきましては、既存店が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比6.4%増の11,678件となりました。葬儀単価におきましては、供花の単価は低下したものの、祭壇売上、葬儀付帯品の単価がそれぞれ上昇し、前年同期比1.2%増となりました。

新たに子会社化した中核葬儀社2社の状況としましては、八光殿及び関連ブランドの葬儀件数は1,138件となり、東海典礼及び関連ブランドの葬儀件数は791件となりました。この結果、葬祭事業の葬儀件数は前年同期比23.9%増の13,607件となり、売上高は131億62百万円（同27.7%増）、営業利益は26億7百万円（同36.7%増）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、FC会館が前年同期と比べ8店舗増加したことによりロイヤリティ売上が増加し、またFC会館への物品販売も増加いたしました。この結果、売上高は4億34百万円（同20.5%増）、営業利益は64百万円（同37.8%増）となりました。

(c) その他事業

その他事業は、不動産事業、リユース事業等で構成されております。

不動産事業につきましては、葬儀社として事業活動をしていくなか、ご遺族から不動産の相続、売却等の相談を多数受けてまいりました。このようなニーズに対応するため、2024年2月より不動産の買取、販売を開始いたしました。

リユース事業におきましては、この度の子会社化に伴い、中古品の宝石・貴金属、時計、バック等の買取・仕入・販売を手掛ける「リサイクルマートアリオ八尾店」「リサイクルマート松原店」をグループ化いたしました。

この結果、その他事業の売上高は3億15百万円、営業利益は13百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は56億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億65百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が13億59百万円増加したことによるものであります。固定資産は208億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億9百万円増加いたしました。これは主にのれんが66億60百万円、有形固定資産が22億50百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、265億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億75百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は56億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億44百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が3億23百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が4億24百万円、その他流動負債が3億79百万円増加したことによるものであります。固定負債は127億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ100億4百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が92億68百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、184億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ109億48百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は81億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益6億72百万円及び剰余金の配当4億50百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。

通期の売上高としましては、2023年11月10日公表しました連結業績予想(以下 期初予想)に、上半期の増収及び中核葬儀社2社の子会社化に伴う増収効果を見込んでおります。営業利益におきましては、期初予想に対し上半期の増収及び中核葬儀社2社の子会社化に伴う増収効果を見込む一方、のれん償却費による減益要因を見込んでおります。また、経常利益におきましては、子会社化に伴う資金調達により支払利息の増加を見込み、親会社株主に帰属する当期純利益では、のれん償却費に伴う法人税等の負担率の増加を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,941	4,301
売掛金及び契約資産	603	828
商品	82	135
貯蔵品	53	69
その他	209	328
貸倒引当金	△2	△9
流動資産合計	3,887	5,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,554	9,480
土地	1,561	1,828
その他（純額）	657	715
有形固定資産合計	9,773	12,023
無形固定資産		
のれん	—	6,660
その他	157	300
無形固定資産合計	157	6,960
投資その他の資産		
差入保証金	893	1,126
その他	663	800
貸倒引当金	△0	△11
投資その他の資産合計	1,557	1,914
固定資産合計	11,489	20,899
資産合計	15,376	26,551
負債の部		
流動負債		
買掛金	361	416
短期借入金	673	350
1年内償還予定の社債	20	47
1年内返済予定の長期借入金	437	861
契約負債	1,789	2,134
未払法人税等	179	244
賞与引当金	261	184
資産除去債務	0	49
その他	1,018	1,397
流動負債合計	4,740	5,684
固定負債		
社債	60	293
長期借入金	1,300	10,568
退職給付に係る負債	—	57
役員退職慰労引当金	1	1
資産除去債務	1,093	1,537
その他	300	302
固定負債合計	2,756	12,761
負債合計	7,496	18,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,892	1,895
資本剰余金	1,525	1,528
利益剰余金	4,461	4,684
自己株式	△0	△2
株主資本合計	7,879	8,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	7,879	8,106
負債純資産合計	15,376	26,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	10,666	13,912
売上原価	6,252	8,286
売上総利益	4,414	5,626
販売費及び一般管理費	3,319	4,369
営業利益	1,095	1,257
営業外収益		
受取利息	2	3
広告料収入	8	6
受取家賃	6	19
受取手数料	—	19
受取保険金	0	5
その他	9	17
営業外収益合計	26	73
営業外費用		
支払利息	20	67
支払手数料	5	161
その他	3	29
営業外費用合計	28	257
経常利益	1,092	1,072
特別利益		
固定資産売却益	—	93
その他	—	8
特別利益合計	—	102
特別損失		
固定資産除売却損	—	25
特別損失合計	—	25
税金等調整前四半期純利益	1,092	1,149
法人税、住民税及び事業税	274	419
法人税等調整額	87	56
法人税等合計	362	476
四半期純利益	730	672
親会社株主に帰属する四半期純利益	730	672

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	730	672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	730	672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	730	672
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	453百万円	615百万円
のれん償却額	—	229

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
葬儀施行関連	10,262	—	10,262	—	10,262
その他	44	360	404	—	404
顧客との契約から生じる収益	10,306	360	10,666	—	10,666
外部顧客への売上高	10,306	360	10,666	—	10,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	10,307	360	10,667	△0	10,666
セグメント利益	1,906	47	1,953	△858	1,095

(注) 1. セグメント利益の調整額△858百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△858百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計				
売上高							
葬儀施行関連	13,105	—	13,105	—	13,105	—	13,105
その他	56	434	491	315	807	—	807
顧客との契約から生 じる収益	13,162	434	13,596	315	13,912	—	13,912
外部顧客への売上高	13,162	434	13,596	315	13,912	—	13,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	30	33	△33	—
計	13,165	434	13,599	346	13,946	△33	13,912
セグメント利益	2,607	64	2,672	13	2,685	△1,428	1,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、リユース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,428百万円には、セグメント間取引消去△33百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,394百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループのセグメントはこれまで「葬祭事業」「フランチャイズ事業」の2区分でありましたが、第1四半期連結会計期間末に株式会社八光殿及び関係会社を連結の範囲に含めたこと並びに新規事業を開始したこと等により、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社HKD-VV3及び株式会社HKD-V3、並びに株式会社TR-TTの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「葬祭事業」のセグメント資産が10,625百万円増加しております。

なお、当該セグメント資産の金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。